



平成20年度
事業報告書

博多まちづくり推進協議会

博多まちづくり推進協議会設立までの経緯

博多駅地区は昭和32年(1957年)から昭和53年(1978年)にかけて博多駅地区土地区画整理事業による都市基盤の形成・公共交通の整備が進められ、約40年が経過した地区である。

平成23年春には、九州新幹線全線開通や新博多駅ビル開業によりまちが大きな転換期を迎え、地域に福岡都心全体のまちづくりを考える機運が高まっている。時代のニーズにあったまちづくりを進めていくためにも、これを推進する組織が求められ、官民が一体となった「博多駅地区まちづくり推進組織準備会(以下、準備会)」が平成19年4月に設立され、本組織設立のために準備が進められてきた。

そして平成20年4月23日には、住む人、働く人、訪れる人が主役となったまちづくりに取り組むために、博多駅周辺の企業、団体や自治協議会、ならびに学識経験者、福岡市などで構成する「博多まちづくり推進協議会(以下、協議会)」が設立された。

博多まちづくり推進協議会の活動指針

理 念

「九州」「アジア」の玄関口である博多駅地区を舞台に、住む人、働く人、訪れる人が主役となったまちづくりを進め、皆に愛され誇れるまち、新たな時代の魅力的な風格のあるまちを創造していく。

6つの 将来像

- 進化し続ける九州・アジアのゲートウェイシティ「博多」
- ビジネスと商業が融合する新商都「博多」
- 歴史と共生し新しい文化や情報を生み出すまち「博多」
- いつもにぎわいのある楽しいまち「博多」
- モラルとやさしさがある安全安心なまち「博多」
- 様々な人と地域が交流し共に育むまち「博多」

活動領域

- まちづくりの基盤づくり
- にぎわい・文化の創出活動
- まちづくりの宣伝・広報・PR活動
- 安全・安心なまちづくり活動
- まちの再開発・リニューアルの準備活動
- まちの回遊性を向上させる活動
- 快適なまちづくり活動
- コミュニティを形成する活動

活動エリア



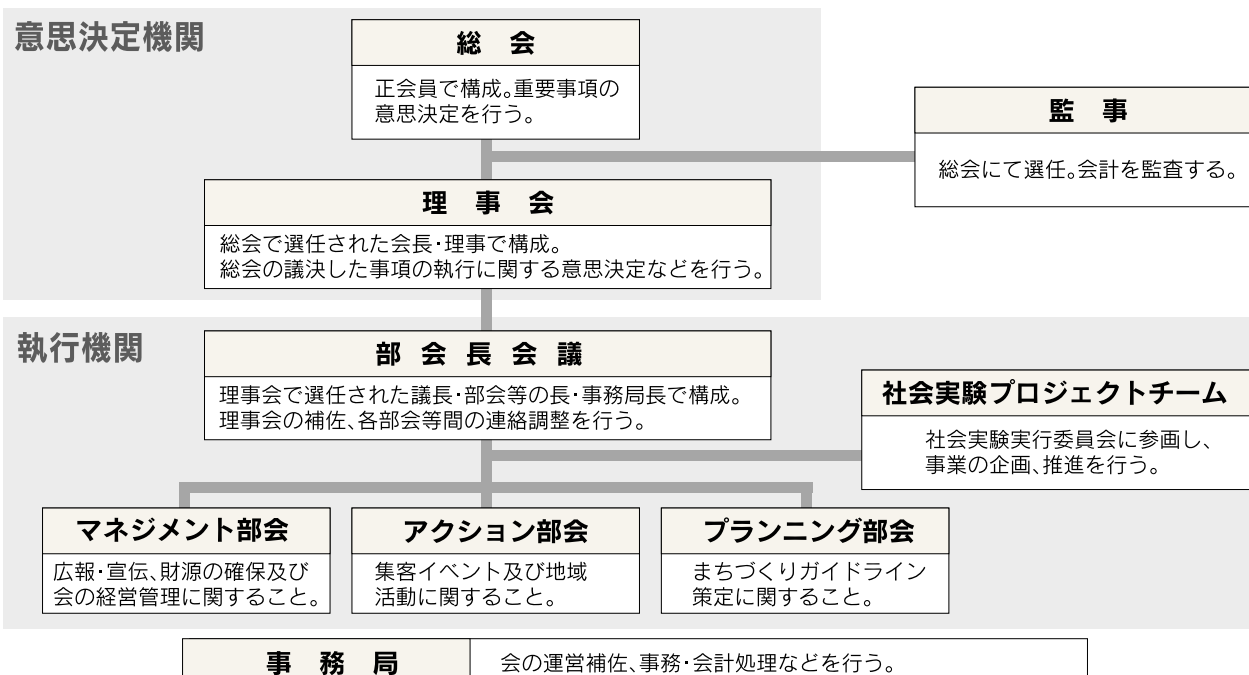
博多駅を中心に東西約1.5km、南北約1kmのエリア

※活動内容によって対象エリアを検討

平成20年度の主な活動実績

月	日	主 な 活 動 実 績
4	23	設立総会・第1回理事会
6	2	講演「福岡都心部発展の歴史」
	16	講演「博多に学ぶ日本の歴史」
	30	出前講座「地区計画制度と都市計画提案制度について」
	30	出前講座「景観法と御供所等における都市景観形成の取り組みについて」
	30	出前講座「都心部機能更新誘導方策について」
7	1	路上禁煙地区拡大施行キャンペーン参加
	9	「夜間景観づくり」勉強会
	14	講演「エリアマネジメントについて」
	16	第2回理事会
	25	九州大学人間環境学研究院生による都市デザインの提案発表「博多駅と博多をつなぐ交響空間（シンフォニー空間）」
	31	第1回通り名ワークショップ
8	4	第1回博多駅地区社会実験実行委員会（設立）
	20	第2回通り名ワークショップ
	25	第3回理事会
9	8	第2回博多駅地区社会実験実行委員会
	18	放置自転車対策協力員及び路上違反広告物追放登録員講習会
	25	第1回社会実験シンポジウム
	27	第2回ふくおか安全安心よかまち運動参加
10	初	博多の未来予想図コンテスト募集（～11月30日）
	4	博多駅地区社会実験「はかたんウォーク」実施（～10月26日）
11	18	講演「ヴェリブ（パリのレンタサイクル）」
12	4	第4回理事会
	5	冬期イルミネーション「冬のファンタジー・はかた'09」（～1月18日）
	10	第3回通り名ワークショップ
	11	第3回博多駅地区社会実験実行委員会
	25	第2次通り名実験（～3月31日）
1	21	第1回ランチ王ワークショップ
	27	出前講座「CASBEE福岡の概要について」
2	10	第2回ランチ王ワークショップ
	16	第2回社会実験シンポジウム
3	10	第5回理事会
	16	第4回博多駅地区社会実験実行委員会

組織体制



博多駅地区社会実験「はかたんウォーク」

実施までの道のり

「博多駅地区まちづくり研究会」からの提言を受け、協議会の前身である準備会で本格的に検討を開始。この業務を継承した協議会が、重要取り組み事項として企画を進めてきた。また、実施にあたっては、より広く関係者の協力・参画を得た実験とするため、「博多駅地区社会実験実行委員会」を設立し、実験の実施主体となった。協議会は実行委員会のメンバーとして、人的、財政的に積極的に関与した。

実施概要

実施期間

平成20年10月4日(土)～10月26日(日) 計23日間

目的

博多駅地区の現状課題を踏まえ、博多駅地区と天神地区を結ぶ「にぎわい回遊軸」を形成し、博多駅地区を含めた歩行者回遊性を高めるとともに、歩行者と自転車が安心して通行できる道路空間を確保する。

コンセプト

- 通りに「わかりやすさ」と「にぎわい」を
- 通りに「歩きやすい」空間を
- 環境と健康にやさしい移動手段の提供

実施エリア

博多駅を中心に東西約1.5km、南北約1kmのエリア

実施主体

博多駅地区社会実験実行委員会
(委員長: 樗木武協議会顧問)

スケジュール

内 容	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
社会実験プロジェクトチーム始動	5/20	プロジェクトチームメンバー全体会合										
実行委員会設立				8/4	社会実験基本計画決定							
第2回実行委員会					9/8	社会実験実施計画決定						
第1回シンポジウム					9/25	社会実験実施告知他						
実験実施						10/4～26						
						10/25・26						
第3回実行委員会								12/11				
								実験中間報告・第2次通り名実験実施決定				
第2次通り名実験実施									12/25～3/31			
第2回シンポジウム										2/16		
										社会実験実施報告他		
第4回実行委員会											3/16	提言完成



▲第1回シンポジウム

▲第2回シンポジウム

「はかたんウォーク」実施内容

通りに「わかりやすさ」と「にぎわい」を

1

通り名付けとまち案内

【実施期間】 10/4～10/26



博多駅地区の11の通りに名称を付け、約60箇所にサインを設置した。あわせて地下からの出入口付近へのサイン表示も行った。国土交通省と連携した「#番号」による位置案内は、認知度が10%強という結果であった。一方で来街者の継続設置の意向も強かったため、第2次実験をすることとなった。

3

フラワーコーナー

【実施期間】 10/4～10/26



はかた駅前通りの博多口交差点2箇所に、枕木製の植栽枡を設置しコスモスで彩った。実験最終日には全鉢を無料配布した。放置自転車対策としての役割も期待したが、大きな効果は得られなかった。

5

キャンドルイベント

【実施期間】 10/25
17:00～21:00



紙袋の中にLEDキャンドルを入れ約1,500個をはかた駅前通りの歩道に設置した。紙袋には来街者の思いのメッセージを書いてもらった。

7

ストリートバナー

【実施期間】 10/4～10/26



自主財源検討の実験も兼ね、公共スペースでマナーアップを呼びかける企業広告を実施した。歩道と平行に設置されたため、歩行者からの視認性は良いと言えず、今後の検討課題となった。

2

オープンカフェ

【実施期間】 10/4～10/26



はかた駅前通り沿いの既存カフェ3箇所(デュークスホテル、ペローチェ、チサンホテル)に計24席を設置した。

4

回遊パフォーマー

【実施期間】 10/25～10/26
10:00～19:00



2組のプロ(クラフトマン、チクリーノ)と1組のアマチュア(25日のみ)が、はかた駅前通りを回遊し、にぎわいの創出に貢献した。

6

博多ハロウィンパレード

【実施期間】 10/25
14:00～17:00



約500名の参加者が明治公園を出発後、はかた駅前通りを通ってキャナルシティ博多を経由し、博多リパレインまでパレードを行った。足を止めて見学する来街者も多く、にぎわいの創出に大きく貢献した。

8

お休みどころ

【実施期間】 10/25～10/26
10:00～19:00



はかた駅前通り沿いに7箇所、計138箇所を設置。全体の利用率が10%程度である中、喫煙席の利用率は20%を越えた。来街者の評価が最も高かったメニューだった。

通りに「歩きやすい」空間を

9

歩行者・自転車の分離

【実施期間】 10/25～10/26
10:00～19:00



はかた駅前通りの両側一車線に「自転車走行スペース」を設置。歩道が歩行者のみの空間となり、安心・快適な空間となった。交通量調査では、歩行者は約30%増、自転車は約20%増、自動車は微減した。

10

第2タクシープール

【実施期間】 10/20～10/26
10:00～19:00
(22日と25日は23:00まで)



【実施場所】 新幹線博多ビル屋上駐車場(20日～24日)
福岡県福岡東総合庁舎駐車場(25日～26日)

筑紫口通りの車道に駐車した待機タクシーがなくなり見通しの良い道路空間となった。

環境と健康にやさしい移動手段の提供

11

レンタサイクル

【実施期間】 10/4～10/26
8:00～18:00

【貸出場所】
博多駅博多口駅前広場



期間中の利用は166台。取引先を訪れるビジネス用途も見られ、男性の利用が75%と高かった。休日の利用台数は平日の約2倍あり、近くはキャナルシティ博多、遠くはマリノアシティまでと目的地は多岐に渡った。

12

自転車タクシー

【実施期間】
10/4～10/26の土休日(9日間)
10:00～20:00



期間中の利用人数は462名。利用者の約70%が女性で、キャナルシティ博多や博多座への利用が大半だった。関係者との協議により、25日と26日に設けた自転車走行スペースを通行することは出来なかった。

13

おしチャリゾーン啓発

【実施期間】 10/4～10/26



博多駅前広場の歩道部分で自転車に乗ったままの通行が目立ったため、工事用仮囲いにステッカーを添付し自転車を押しで通行していただくよう啓発活動を行った。

14

公共交通利用促進

【実施期間】
10/4～10/26の土休日(9日間)



公共交通機関を利用し証明スタンプをもらって懸賞に応募すると抽選で景品が当たるキャンペーンを実施した(応募総数634通)。アンケートによると、博多駅地区への交通手段は多い順に、バス、JR、地下鉄、その他(自家用車含む)であった。

第2次通り名社会実験

「通り名付けとまち案内」の実験結果を受け、平成20年12月25日～平成21年3月31日の期間、「はかた駅前通り」「祇園通り」「大博通り」の3つの通りで、「#番号」による位置案内を伴った仮設サインを街路灯を中心に約80箇所設置した。

実験中に行った調査によると、第1次実験に比べて長期間・高密度・一貫性を伴ったサイン設置となったため、認知度は20%以上に向上した。また、70%以上の方がこの取り組みを肯定的に評価した。



まちづくりガイドライン

「博多の未来予想図」コンテストの実施

コンテストの狙い

博多の未来に対する思いや意見を募り、今後のまちづくりの指針となる「博多まちづくり宣言(仮称)」や「博多まちづくりガイドライン(仮称)」の策定に参考とすることを目的に実施した。



▲コンテスト案内チラシ

募集期間

平成20年10月1日から11月30日までの2ヶ月間

応募総数

エッセイ部門 88通 イメージ部門 41通
お宝写真部門 41通 総計 170通

審査の視点

①メッセージ性 ②表現力 ③独創性 ④博多らしさ



▲コンテスト審査会の様子

審査委員(敬称略)

川上信也 (写真家)
出口敦 (九州大学教授)
ニック・サーズ (FUKUOKA NOW編集長)
長谷川法世 (漫画家、「博多町家」ふるさと館館長)
水戸岡鋭治 (産業デザイナー)
唐池恒二 (博多まちづくり推進協議会会長)

表彰(平成21年4月)

賞金 最優秀賞 各部門1点 10万円
優秀賞 各部門3点程度 2万円

博多まちづくり宣言(仮称)

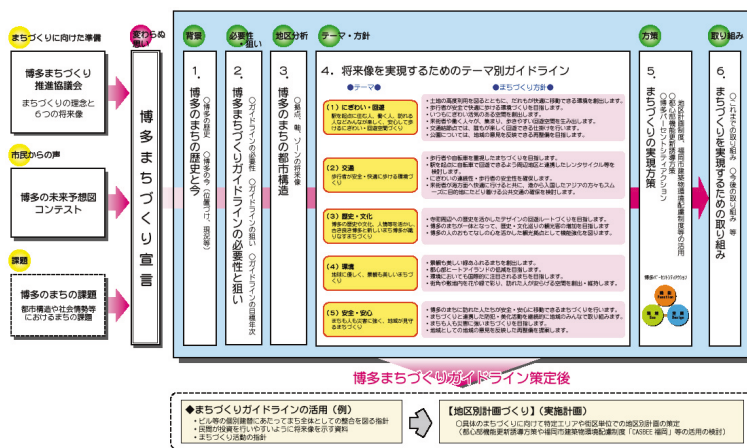
博多のまちづくりを進めるにあたり、目指すべき目標や指針をみんなで共有することを目的として「博多まちづくり宣言(仮称)」の作成を進めてきた。

博多まちづくりガイドライン(仮称)

協議会の「理念」や「6つの将来像」、博多まちづくり宣言(仮称)等を踏まえ、「にぎわい・回遊」「交通」「歴史・文化」「環境」「安全・安心」などに関する博多のまちづくりの指針となるものを検討している。

今後は、協議会会員からの意見募集やシンポジウムの開催、パブリックインボルブメント(PI:市民意見募集)等を実施する。

博多まちづくりガイドライン(仮称)の構成案



ガイドライン策定に向けた講演・出前講座等



▲プランニング部会でのワークショップ



▲プランニング部会の様子

まちづくりガイドラインの作成の一助とするため、必要に応じ講演、ワークショップ形式の協議形態や事例研究、福岡市からの出前講座を行った。

※出前講座とは、福岡市の取り組みや情報などを市の職員が地域に訪問して説明する制度。



▲上田啓蔵氏の講演

6月 2日

講演「福岡都心部発展の歴史」

講師：九州大学人間環境学研究院 長聡子氏

6月16日

講演「博多に学ぶ日本の歴史」

講師：はかた部ランド協議会 議長 上田啓蔵氏

6月30日

出前講座「地区計画制度と都市計画提案制度について」

講師：住宅都市局 都市計画課 田梅雅彦氏

出前講座「景観法と都市景観形成の取り組みについて」

講師：住宅都市局 都市景観室 永野間謙二氏

出前講座「都心部機能更新誘導方策について」

講師：住宅都市局 都心再生課 町田一彦氏

7月14日

講演「エリアマネジメントについて」

講師：九州大学人間環境学研究院 長聡子氏

事例紹介「天神まちづくりガイドライン」

講師：九州大学人間環境学研究院 長聡子氏

事例紹介「アイランドシティ・デザインガイドライン」

講師：ZEN環境設計 中村久二氏

7月25日

九州大学人間環境学研究院生による都市デザインのシャレットワークショップ「博多駅と博多をつなぐ交響空間(シンフォニー空間)」の発表会をプランニング部会の場を活用して行った。

※シャレットワークショップとは、短期間に集中的にまちづくりのあり方などについて検討するワークショップのこと。

8月28日

事例紹介「はかた駅前通り景観形成ガイドライン(案)」

講師：住宅都市局 都市景観室 大塚政徳氏

11月18日

講演「ヴェリブ(パリのレンタサイクル)」

講師：MCDcaux(エムシードウコー)(株) 猪爪勇斗氏

1月27日

出前講座「CASBEE福岡の概要について」

講師：住宅都市局 建築審査課 黒岩利之氏

3月 2日

事例紹介「小倉地区における市街地活性化の取り組み」

講師：タウンマネージャー 甲斐寛人氏

3月23日

事例紹介「福岡市都心部機能更新誘導方策の適用事例」

講師：大林組 伊藤寛氏



▲福岡市による出前講座



▲シャレットワークショップ

集客イベント

地域イベント連携



▲大博灯明



▲ライトアップウォーク



▲ライトアップウォーク

大博灯明

博多灯明ウォッチングや博多献上道中と連動して大博通りに行灯を設置した。10月18日は50灯の行灯を、10月25日は行灯に加え750灯の紙袋に入れたLEDキャンドルを設置した。

博多再生会議

博多の秋のさまざまなイベントを包括した「博多秋博」キャンペーンとして、統一的な広報展開を福岡市が事務局となって実施した。このキャンペーンを企画した「博多再生会議」は、2011年までの博多の集客交流策を企画実施するものであり、本協議会事務局も会議メンバーとして参加した。

御供所ライトアップウォーク

福岡市が事務局を務める御供所ライトアップウォーク実行委員会と連携を図り、ポスターやチラシの配布を協議会会員の協力を得て配布し、広く告知に努めた。

後 援「仙厓さんと七日間」(10月1日～7日)

「第5回緑化セミナー:福岡市新・緑の基本計画」
(3月25日)

共 催「元気UPふくおか2008～学校まると緑花
大作戦報告会」(2月4日)

協 賛「博多祇園山笠建設奉賛」(7月1日～14日)
「博多駅まつり」(10月4日～5日)

冬期イルミネーション「冬のファンタジー・はかた'09」



博多駅からキャナルシティ博多へと続くはかた駅前通りがイルミネーションで彩られた。昨年までの電球からLEDに変更し、約3倍の14万球を使用して、12月5日から1月18日までの45日間点灯した。はかた駅前通りだけではなく、筑紫口駅前広場、大博通り、住吉通りでも同時開催した。

【イルミネーション検討会】

第1回:6月27日、第2回:7月9日、第3回:7月23日、第4回:11月12日、
第5回:1月14日、第6回:2月25日

地域活動

マナーアップキャンペーン



▲路上禁煙地区拡大施行キャンペーン

路上禁煙地区拡大施行キャンペーン

7月1日からの博多駅周辺の路上禁煙地区が拡大することに伴い、博多駅博多口駅前広場にてセレモニーと街頭啓発活動が開催された。

協議会から約20名が参加し、チラシやミニのぼりなどの啓発グッズの配布を行った。また、協議会会員にも告知物の掲出等で協力をしてもらい、博多駅の工事用仮囲い看板にも路上禁煙地区の地図を掲出した。



▲放置自転車対策の様子

路上違反広告物追放登録員および放置自転車対策協力員講習会

9月に博多区役所による登録講習会を行い、約60名の新規登録を行った。

まちの美化活動



▲クリーンデイ

クリーンデイ

毎月第3木曜日の早朝、博多駅博多口駅前広場に約150名が集合し清掃活動を行った。主に、大博通り、はかた駅前通り、住吉通り、筑紫口周辺に分かれて活動しているが、8月には出来町公園と中比恵公園を重点清掃した。

また、清掃とあわせて、放置自転車への駐輪タグ（警告と駐輪場案内）の取り付けと違反広告物の撤去を行った。



▲プランターポット

プランターポットの花の植え替え

はかた駅前通りに設置されているプランターポットの花の植え替えを、年間を通じて3回行った。



▲ふくおか安全安心よかまち運動

ふくおか安全安心よかまち運動

9月27日の「ふくおか安全安心よかまち運動」に協議会から約70名が参加し、天神中央公園から明治公園までの清掃活動を行った。

地域活動

まちづくりワークショップ・勉強会

通り名ワークショップ

地域の愛着を育み、来街者にも分かりやすいまちにするために、博多駅周辺の通りに名称をつけて活用する準備を進めた。7月31日、8月19日および12月10日の計3回のワークショップを行った。

パブリックコメントの募集も行い、名付けする通りの選定の参考にした。

仮決定した11の通りについて、社会実験において「通り名ワークショップ」として効果検証を行った。



▲通り名ワークショップ



▲通り名ワークショップ



▲通り名ワークショップ

「夜間景観づくり」勉強会

博多駅周辺の冬期イルミネーション事業の参考とするために、7月9日、福岡市景観アドバイザーの松下美紀氏を講師に招き、夜間景観づくりをテーマにした勉強会を開催した。

冬期イルミネーション事例紹介

2月25日のイルミネーション検討会の中で、東京の事例を中心に、スポンサード事業の仕組みについて勉強会を行った。



▲「夜間景観づくり」勉強会

キング 「博多ランチ王」ワークショップ

身近なテーマで地域に関心を持ってもらうために、博多駅周辺地域の飲食店を紹介する情報誌(フリーペーパー:15万部)の発行を監修した。

ランチにお勧めの店のアンケート調査を行い、紹介店舗の取材と1月21日と2月10日に編集企画ワークショップを行った。



▲ランチ王表紙

情報発信

ホームページ

協議会設立に伴い、準備会で開設したホームページのリニューアルを行った。各部会毎の活動までが細かく紹介できるものとし、公開する情報の深度化を図った。同時に、協議会会員との相互リンクを行い、広く周知を図った。

<http://hakatan.jp>



博多駅工事用仮囲い看板の活用



▲博多祇園山笠



▲協議会概要

平成20年6月から博多駅の工事用仮囲いを活用した地域情報の発信を行った。

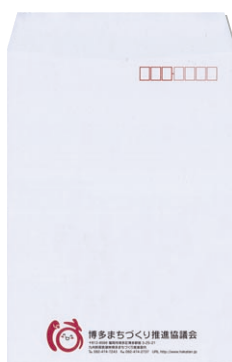
博多祇園山笠、放生会、博多秋博、博多駅地区社会実験「はかたんウォーク」マップ、協議会の概要と博多駅周辺の地図を掲載した。

ロゴマークの活用

協議会のPRのために、ロゴマークを活用して名刺用シールや、毎月のクリーンデーで活用するのぼり旗や手旗、スタッフジャンパーなどを作成した。(商標登録番号:2008-022713)



▲スタッフジャンパー



▲封筒



▲名刺用シール



▲のぼり旗

自主財源検討

協議会の自主的な財源確保を目指した検討を行い、先駆的な取り組みとして、エリアマネジメント広告事業、まちづくり支援自販機事業を実施した。

エリアマネジメント広告事業は、平成20年12月から平成21年3月にかけて、博多駅の工事用仮囲いを活用して看板の設置を行った。

まちづくり支援自販機は、売り上げの一部が協議会の収益となるもので、2台が稼動を開始した。「博多織」のデザインに協議会のロゴマークをあしらったデザインを採用した。



まちづくり支援自販機 ▶

定例会議の実施概要

設立総会

回	月	日	主 な 議 題
1	4	23	規約の制定／役員（会長、理事、監事）の選出／平成20年度事業計画／部会等の設置

理 事 会

回	月	日	主 な 議 題
1	4	23	平成20年度スケジュール／部会長会議の議長、部会等の長、事務局長の選出／経理規程及び事務決裁規程の制定／会員の特例
2	7	16	新規入会会員／博多駅地区社会実験／冬期イルミネーション（特別協賛事業）／部会長会議の議長の変更／各部会活動報告・会計報告
3	8	25	新規入会会員／博多駅地区社会実験／各部会活動報告・会計報告
4	12	4	新規入会会員／平成21年度事業計画／平成21年度予算／博多駅地区社会実験基本計画変更／各部会活動報告・博多駅地区社会実験・会計報告
5	3	10	新規入会会員／賛助会員／通りの名称／博多まちづくり宣言（仮称）／平成20年度事業報告／平成20年度決算／平成21年度事業計画（案）／平成21年度予算（案）／平成21年度スケジュール／部会等の見直し／部会長会議の議長、部会等の長、事務局長の選任／平成21年度「通常総会」付議事項／各部会活動報告・博多駅地区社会実験

部会長会議

回	月	日	主 な 議 題
1	6	3	各部会からの活動報告
2	6	18	第2回理事会議案／各部会からの活動報告
3	7	9	博多駅地区社会実験／各部会からの活動報告
4	8	20	第3回理事会議案／各部会からの活動報告
5	9	17	博多駅地区社会実験／各部会からの活動報告
6	10	15	第4回理事会議案／各部会からの活動報告

回	月	日	主 な 議 題
7	11	19	第2次通り名実験／各部会からの活動報告
8	12	17	各部会からの活動報告
9	1	21	第5回理事会議案／各部会からの活動報告
10	2	18	第5回理事会議案／各部会からの活動報告
11	3	18	各部会からの活動報告

マネジメント部会

回	月	日	主 な 議 題
1	5	13	準備会平成19年度事業報告／設立総会・第1回理事会（報告）／情報発信（ホームページ・工事前仮囲い看板）／自主財源検討／賛助会員のあり方
2	5	27	情報発信（ホームページ・工事前仮囲い看板）／ロゴマークを活用した演出
3	6	10	情報発信（ホームページリニューアル・工事前仮囲い看板）／ロゴマークを活用した演出
4	6	24	情報発信（ホームページリニューアル・工事前仮囲い看板）／自主財源検討
5	7	8	情報発信（ホームページリニューアル・工事前仮囲い看板）
6	8	19	情報発信（工事前仮囲い看板）／エリアマネジメント広告／まちづくり支援自販機
7	9	9	情報発信（工事前仮囲い看板）／エリアマネジメント広告／まちづくり支援自販機／スタッフジャンパーの作成
8	10	7	平成21年度事業計画／平成20年度決算見込と平成21年度予算／まちづくり支援自販機
9	11	11	まちづくり支援自販機／博多駅工事前仮囲い看板の活用（エリアマネジメント広告）／ホームページの更新／ミニのぼりの作成
10	12	9	まちづくり支援自販機／博多駅工事前仮囲い看板の活用（エリアマネジメント広告）／ホームページの更新／賛助会員のあり方
11	1	15	まちづくり支援自販機／博多駅工事前仮囲い看板の活用（エリアマネジメント広告）／ホームページの更新／賛助会員のあり方／視察検討
12	2	17	博多駅工事前仮囲い看板の活用（エリアマネジメント広告）／賛助会員のあり方／中長期スケジュール／博多まちづくり推進協議会の目指すもの
13	3	17	博多駅工事前仮囲い看板の活用（エリアマネジメント広告）／中期スケジュール／ガイドライン最終章／協賛の基準／平成20年度事業報告書

アクション部会

回	月	日	主 な 議 題
1	5	13	アクション部会活動項目と進め方／クリーンデイ開催方法
2	5	28	冬期イルミネーション事業の進め方／はかた駅前通りプランターポット取り扱い
3	6	11	社会実験連動イベント／博多通り名プロジェクト
4	6	25	「夜間景観づくり」勉強会／博多通り名プロジェクト
5	7	9	博多通り名プロジェクト／社会実験「にぎわい」イベント
6	7	23	冬期イルミネーション検討会／ふくおか安全安心よかまち運動
7	8	6	博多通り名プロジェクト／御供所ライトアップウォーク委員会報告
8	8	27	通り名で道案内／路上喫煙スペースのあり方
9	9	10	冬期イルミネーション発注／大博通り行灯プロジェクト
10	9	24	通り名新聞社広告企画／福岡市長「聞きたかけん」応募
11	10	8	社会実験状況報告／平成21年度活動項目
12	11	12	通り名実証実験／ランチ王制作
13	11	26	通り名ワークショップ／ランチ王制作
14	1	14	冬期イルミネーションアンケート／平成21年度活動項目
15	2	4	緑化推進／平成21年度事業計画
16	2	25	冬期イルミネーションアンケート結果／通り名の選定
17	3	11	緑化セミナー後のまち歩き／平成21年度事業計画

プランニング部会

回	月	日	主 な 議 題
1	6	2	これまでの検討状況とまちづくりガイドライン骨子案(準備会作成)／ 講演「福岡都心部発展の歴史」／ワークショップ:博多の「将来像」を発展、課題を整理
2	6	16	講演「博多に学ぶ日本の歴史」／前回のワークショップ検討結果／ワークショップ:将来像に対する課題、実現方策、取り組み
3	6	30	出前講座「地区計画制度と都市計画提案制度について」／出前講座「景観法と都市景観形成の取り組みについて」／ 出前講座「都心部機能更新誘導方策について」
4	7	14	講演「エリアマネジメントについて」／事例紹介「天神まちづくりガイドライン」／ 事例紹介「アイランドシティ・デザインガイドライン」／ワークショップのまとめ／ 博多まちづくりガイドライン(仮称)の構成案
5	7	25	九州大学人間環境学研究院生による都市デザインの提案発表「博多駅と博多をつなぐ交響空間(シンフォニー空間)」
6	8	28	事例紹介「はかた駅前通り景観形成ガイドライン(案)」／まちづくりガイドラインの検討状況(現況・課題編)／ 博多まちづくり宣言(仮称)策定にむけた「博多の未来予想図」の募集
7	9	25	博多の未来予想図コンテストの概要／まちづくりガイドラインの検討状況および今後の進め方
8	10	22	まちづくりガイドラインの検討状況／環境・交通に関するガイドライン
9	12	18	博多の未来予想図コンテストの応募状況／まちづくりガイドラインの検討状況等／平成21年度の事業計画
10	1	27	出前講座「C A S B E E 福岡の概要について」／博多まちづくり宣言(仮称)／博多まちづくりガイドライン(仮称)
11	2	24	博多の未来予想図コンテストの結果／博多まちづくり宣言(仮称)の草案／ 博多まちづくりガイドライン(仮称)の検討の状況と理事会への中間報告
12	3	16	博多まちづくり宣言(仮称)の草案／博多まちづくりガイドライン(仮称)の検討状況

【正会員】(株)アーバンコーポレイション、あいおい損害保険(株)、朝日新聞社、アサヒビール(株)、(株)アサヒファシリティーズ九州支店、(株)石村萬盛堂、(株)伊藤園、(株)大林組九州支店、鹿島建設(株)九州支店、堅粕校区自治協議会、紙与産業(株)、九州勸業(株)、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)九電工、麒麟ビール(株)、グラント・ハイアット・福岡、(株)神戸製鋼所九州支店、コクヨ九州販売(株)、西部ガス(株)、(株)サニクリーン九州、サンエフ(株)、七洋物産(株)、清水建設(株)九州支店、ジェイアール九州都市開発(株)、ジェイアール九州フードサービス(株)、(株)ジェイアール九州ファーストフーズ、ジェイアール九州メンテナンス(株)、JR九州リテール(株)、住吉校区自治協議会、(株)損害保険ジャパン、(株)竹中工務店九州支店、大和観光(株)福岡支店、(株)ティー・ヴィー・キュー九州放送、(株)テレビ西日本、(有)デュークスホテル博多、(株)西日本シティ銀行、西日本新聞社、西日本鉄道(株)、西日本電信電話(株)福岡支店、西日本旅客鉄道(株)新幹線管理本部福岡支社、日本郵政(株)、日本アイ・ビー・エム(株)福岡事業所、日本経済新聞社西部支社、日本たばこ産業(株)福岡支店、博多校区御供所自治協議会、博多校区冷泉自治協議会、(株)博多ステーションビル、博多ターミナルビル(株)、東住吉校区自治協議会、(株)ファビルス、深見興産(株)、福岡朝日ビル(株)、(株)福岡銀行、(株)福岡交通センター、福岡地所(株)、福岡商工会議所、(株)福岡リアルティ、(株)ふくや、富士ゼロックス福岡(株)、(株)フジタ九州支店、ホテルセントラザ博多、(株)ホテル日航福岡、三井住友海上火災保険(株)、三井不動産(株)九州支店、(株)UG都市建築、読売新聞西部本社

【一般会員】朝日生命保険(相)福岡支社、(株)イースタンスポーツ 博多スターレーン、(株)伊予銀行福岡支店、(有)内田エステート、内山緑地建設(株)九州支店、(株)駅レンタカー九州、オムロンフィールドエンジニアリング九州(株)、(株)鹿児島銀行福岡支店、『環境緑化を考える会』、(株)九州交通企画、(株)九州ばど、(株)近鉄ホテルシステムズ 博多都ホテル、(株)久米設計九州支社、(株)グランビスタホテル&リゾート ホテル コムズ 福岡、グリーンランド・エスパド、(医)敬仁会、(株)コスモスイニシア、五洋建設(株)九州支店、西京ホンダ販売(株)、(株)サニックス、(株)ジェイアール九州エージェンシー、ジェイアール九州コンサルタンツ(株)、ジェイアール九州商事(株)、ジェイアール九州ビルマネジメント(株)、(株)ジェイアールサービスネット福岡、(株)スペースキュー、住友生命保険(相)福岡総支社、(株)セイ・アートギャラリー、西部日本エンタープライズ(株)、ソラーレホテルズアンドリゾーツ(株)チサンホテル博多、第一生命保険(相)、TOTO(株)、(学)中村学園 中村学園事業部、(株)ナショナル土地、日本生命保険(相)博多支社、(株)日本旅行福岡支店、ハウステンボス(株)九州支社、博多駅東街づくり連合会、(株)博多グリーンホテル、NPO博多の風、(株)パノラマ・ホテルズ・ワン ANAクラウンプラザホテル福岡、(株)ヒロカネドコモショップ博多駅前店、(株)福岡シティクラブサンライフホテル、福岡総合印刷(株)、古河電気工業(株)、ホテルルートイン博多駅前、ホテルレオパレス博多、(株)未来図建設、(株)メガススポーツスポーツオーソリティ 福岡キャナルシティ店、(株)八百治博多ホテル、ヤマハサウンドテック(株)九州営業所、(株)読売広告社 福岡支社

【特別会員】九州大学、九州大学名誉教授 樗木 武、国土交通省九州運輸局、国土交通省九州地方整備局、(独)都市再生機構九州支社、(株)日本政策投資銀行九州支店、(財)福岡アジア都市研究所、福岡県、福岡市

平成21年3月31日現在